事業番号	105

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要

事務事業名		高齢者世話付住宅援助員派遣事業							担当部	健康福祉部	
会計区分		一般会計		事業類型	実施計画事業以外				担当課	地域福祉課	
事業期間		平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	長寿福祉係	
総合計画分野別計画	主目的	2 保健・福祉	8 高齢者福祉	2 高齢者の在宅生活を支援します							
	副目的								実施計画対象		
予算区分		款	3	項	2	目	1	大	3	中	6
根拠法令・個別計画		小牧市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業運営要綱									
目的（対象をどの様な状態にするのか）		高齢者が自立して安全で快適な生活を営むことができるよう、在宅生活の支援を図る。									
内容（手段）		◆26年度実施内容 高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）の入居者に対し生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供し、在宅生活を支援する。 事業は、（福）小牧市社会福祉協議会へ委託する。 事務事業：新規入居者に対する事務、現況調査及び手数料算定事務、手数料の収納事務、生活援助員との連絡調整、委託料の支払事務 ◆26年度直接経費の内訳 生活援助員派遣委託料 6,993千円 （一般財源以外の財源） 高齢者世話付住宅生活援助員派遣手数料 152千円 ◆27年度直接経費の内訳 生活援助員派遣委託料 9,826千円 （一般財源以外の財源） 高齢者世話付住宅生活援助員派遣手数料 189千円									
受益者負担		有	小牧市使用料及び手数料条例に基づき、サービスに対する負担として、1月につき4,900円以内で所得税額に応じ市長が定める額。								

コスト

			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費		千円	10,182	10,078	6,993	9,826
	正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
		人件費	千円	263	263	263	263
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	10,445	10,341	7,256	10,089
	対前年比		%		99.0	70.1	139.0
財源	一般財源		千円	10,344	10,224	7,104	9,900
	国・県支出金		千円	0	0	0	0
	その他財源		千円	101	117	152	189

事業番号	105

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	派遣世帯数	世帯	目標	54	54	54	54
			実績	51	51	48	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	派遣日数	日	目標	243	243	244	243
			実績	245	244	244	
			目標				
			実績				

事業の自己評価				
	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）の入居者に対し生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供し、在宅生活の支援が図られている。 派遣世帯、派遣日数共に全世帯に派遣達成できた。	
		事業実施における課題	現在、社会福祉協議会に委託をしていることから、担当する職員により委託料の変動がある。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）の入居者に対して、きめ細かい生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスが提供できない。	
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	委託先に人件費の引き下げや委託先の変更について協議を行う。	
	平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	縮　小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの
		判定理由	今後の超高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援する必要があるが、委託先等の変更を行い、経費削減が必要である。	
		28年度以降の改善案	引き続き、仕組みの知識向上を図り、居住をしている高齢者の見守りを続けていく。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	縮　小	一次評価のとおり。 社会福祉協議会と協議を行い、生活援助員派遣委託料の削減や委託先の変更に取り組むこと。